

平成30年度事業実施状況

1 事業の一覧 【研】：研修センター機能 【情】：情報センター機能 ○：会議他

	事業内容
4月	<p>【情】センターだより発行</p> <p>【情】平成30年度版リーフレット作成・配布</p> <p>【情】教材機材貸出開始</p> <p>【情】アプリケーション操作支援（メール登録・設定） 二俣保育所（4/5）</p> <p>【研】退職校長会PCクラブ（4/18） 蔵しっくパーク</p> <p>【情】アプリケーション操作支援（CMS操作） 二俣小学校（4/19）</p>
5月	<p>○第1回センター連絡会議（5/11） 河北総合センター</p> <p>○センター利用説明会（5/16・17） 河北総合センター 対象：学校関係教職員・社会教育施設等関係職員 ※ 2日間のうち、いずれか都合の良い日に参加</p> <p>○第1回運営委員会（5/25） 河北総合センター</p>
6月	<p>【研】サテライト研修会開始（～2月）</p> <p>【研】河北ゆうゆうPCクラブ開始（～3月・年15回） 石巻市情報プラザ</p>
7月	<p>○運営委員会役員会（7/4：試写教材選定） 河北総合センター</p> <p>【情】センターだより発行</p> <p>【情】アプリケーション操作支援（パワーポイント出前講座） 東松島市職員（7/24） 東松島市コミュニティセンター</p> <p>【情】女川町獅子振り披露会：撮影記録（7/29）・DVD作成（7/31～8/2）</p>
8月	<p>○第2回運営委員会（8/7：購入予定教材試写会・選定） 河北総合センター</p> <p>【情】ジュニアリーダー中級研修会：撮影記録（8/17・18）・DVD作成（8/23～10/19）</p> <p>【研】デジタルメディア研修会Ⅰ（8/21・22） 石巻市情報プラザ 対象：学校関係教職員・社会教育施設等関係職員 ワード文書作成研修（受講者5名）</p> <p>○第2回センター連絡会議（8/24） 石巻市情報プラザ</p>
9月	<p>【研】デジタルメディア研修会Ⅱ（9/6・7・13・14） 石巻市情報プラザ 対象：学校関係教職員・社会教育施設等関係職員 パワーポイント基本研修（受講者2名） ※夜間実施</p> <p>【情】平成30年度新規教材購入</p>
10月	<p>【情】アプリケーション操作支援（CD作成） 石巻市芸術文化振興財団（10/3）</p> <p>【情】センターだより発行</p>

11月	<p>【研】デジタルメディア研修会Ⅲ（11/1） 石巻市情報プラザ 対象：学校関係教職員・社会教育施設等関係職員 エクセル基本研修（受講者10名）</p> <p>【研】宮城県小中学校視聴覚教育研究大会（11/9） 石巻市立湊小学校 ※ 石巻市視聴覚センターは後援として、視聴覚・情報教育研究会と連携 対象：宮城県内学校関係教職員（参加者93名） <公開授業>（高等学校は実践発表） 小学校：学級活動「場合に応じて安全に避難しよう」（プログラミング教育） 中学校：道徳「おくれてきた客」（視聴覚教育） <講演会> 演題：「主体的・対話的で深い学びを実現するICT活用の在り方」 東北福祉大学 教育学部 教育学科 初等教育専攻 山下 祐一郎 氏</p> <p>【情】成人式DVD作成相談支援 雄勝地区（11/6） 【情】石巻地区青年文化祭撮影・記録（11/18） 【情】ホームページ作成相談支援 矢本東小学校（11/20）</p>
12月	<p>【情】センターだより発行 【情】成人式DVD作成支援 石巻地区（12/18、12/20）</p>
1月	<p>【情】成人式DVD作成支援 牡鹿地区（1/8） 【情】石巻地区成人式撮影記録DVD作成支援（1/13） 【情】ホームページ更新等相談支援 東松島市教育委員会（1/24） 【情】ホームページ作成相談支援 石巻市特別支援教育共同実習所（1/31）</p>
2月	<p>【情】女川町「帰宅・安全指導放送」録音編集（2/4） ○第3回センター連絡会議（2/5） 石巻市情報プラザ ○第3回センター運営委員会（2/19） 河北総合センター</p>
3月	<p>【情】センターだより発行 【情】アプリケーション操作支援（メール設定） 和渕保育所（3/13） ○次年度計画立案 ○石巻市視聴覚センター移転作業</p>

【サテライト研修会について】

石巻地区22の小中学校、幼稚園・保育所等において児童生徒1、364名、職員108名、保護者92名を対象に研修会を実施した。（平成31年2月19日現在）

スマートフォンはもちろん、テレビやスマートスピーカーなどのインターネット接続機器が普及し、あらゆるものがインターネットとつながっている。また、2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、無料の無線LANが全国的に増加しており、より一層つながりやすくなる。時間や場所を問わず、子供でも容易にインターネットに接続できるようになった現在、情報教育の重要性はさらに高まっている。

警察庁が平成30年4月に発表した「平成29年におけるSNS等に起因する被害児童の現状と対策について」によると、SNSに起因する事犯の被害児童数は増加（昨年度は1,813人で前年より4.4%増）し、統計を取り始めた平成20年以降で最多となっている。特に児童ポルノや児童買春の被害が増加傾向にある。匿名性の高いSNSは、悪意のある大人が簡単に児童に接触でき、甘言や虚言を用いた働きかけによる被害が生じやすいこと等が原因として考えられる。なお、被害児童の9割以上がフィルタリングを利用していなかった。他にもSNSによるいじめや安易な投稿による個人情報流出などの問題が発生しており、情報モラルの育成が急務である。青少年インターネット環境整備法では、子供が安全に安心してインターネットを利用できるようにする保護者の責務が示されているが、利用状況を適切に把握し、管理できずに悩んでいる家庭が少なくない。学校でも情報モラルの必要性は理解しているものの、トラブルが多岐にわたり、対応に苦慮しているのが現状である。当センターの社会教育主事としては、家庭や学校が抱えている課題を克服する一助となる取り組みを考え、支援していくことが大切である。

具体的には、社会教育主事が依頼校へ出向き、情報モラル学習や情報モラル研修を実施した。情報モラル学習は、児童生徒が正しく情報社会に参画しようとする態度の礎を養うことはもちろん、教職員の情報教育にかかわる基礎的な知識・技能の習得と指導力向上を図ることを趣旨として、児童生徒へ授業をした。指導内容は、事前の打合せで各校や各学年の児童生徒の実態や担任の願いを受けて構成した。また、担任がT1、社会教育主事がT2となり、TT指導による指導案を一緒に作成し、実践した。さらには、他学年の教職員も活用できるよう、本時の指導案やワークシート、補助資料（「主なSNSの設定・対策」他）等を提供した。情報モラル研修は、教職員や保護者がインターネットトラブルを理解し、防止させることを目的として開催した。トラブル事例や調査結果から、子供たちを守るための方策について考えたことにより、各々の立場で実践しようとする意識が高まった。

これからの情報化社会に適応できるように子供たちを導いていくためには、大人自身も学ぶ必要がある。新しい知識を得て、適切な利用について考える有効な手立てとして、学校での学習内容を子供と家庭で共有したり、学校と保護者、保護者同士で情報を交換したりすることも有効であることを呼びかけていくとともに、ニーズに応じた研修の機会を提供していきたい。

2 貸出し事業の概要

(1) 教材・機材の貸出し件数

年度 月	平成 29 年度				平成 30 年度				前年比 %
	石巻市	東松島市	女川町	合計	石巻市	東松島市	女川町	合計	
4 月	43	9	0	52	39	9	5	53	102%
5 月	53	7	7	67	41	18	2	61	91%
6 月	73	20	3	96	65	18	2	85	89%
7 月	54	13	3	70	93	0	0	93	133%
8 月	49	6	0	55	62	0	1	63	115%
9 月	69	4	0	73	48	0	1	49	67%
10 月	51	5	0	56	67	3	3	73	130%
11 月	25	8	0	33	62	3	9	74	224%
12 月	19	3	4	26	32	8	4	44	169%
1 月	49	5	0	54	77	5	2	84	156%
2 月	56	8	0	64	49	9	4	62	97%
合計	541	88	17	646	635	73	33	741	115%

(2) 貸出先種別件数

	平成 29 年度	平成 30 年度	前年比 %
幼稚園	27	55	204%
保育所等	220	307	140%
小学校	97	116	120%
中学校	50	42	84%
高等学校等	27	13	48%
官公署等	94	37	39%
教育委員会等	57	73	128%
福祉施設	1	8	800%
その他	73	90	123%
合計	646	741	115%

(3) メディア種別貸出数件数

	平成 29 年度	平成 30 年度	前年比 %
DVD	322	463	144%
16mm	7	10	143%
ビデオ	1	13	1300%
機 材	316	255	81%
合 計	646	741	115%

※データ集計日：平成31年3月1日